

校訓	盡己	令和4年度学校通信 「松崎中だより」 第10号	発行日	令和4年9月29日
教育目標	すべてのことに全力で取り組む生徒の育成 「一生懸命勉強する」「優しい心を持つ」「感動する」生徒の育成		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 佐藤 幸宏

3年ぶりの体育大会

9月24日（土）、爽やかな秋空のもと「第48回体育大会」を開催いたしました。この2年間の体育大会は、コロナウイルス感染予防対策により中止や縮小制限等を余儀なくされましたが、今年度は、感染防止対策を十分講じた上で、学年別により競争競技を中心とした種目でプログラムを構成し開催しました。100m走の個人種目を皮切りに、ラケット競走、女子・男子リレー、男女混合リレー、そして最後に学年種目の「長縄競走」で締めくくりました。声援とともに熱気あり笑いありの競技が繰り広げられ、長縄競走では、学年が上がるごとに、速さと飛ぶ回数も増え、見応えがありました。



保護者の皆様には、会場の入退場が学年ごとの入替制となりご苦勞をおかけしましたが、延べ1034人もの参加を得て、3年ぶりに、心温まる声援、大きな拍手をいただく中で開催でき、生徒たちにとっても大きな励みとなりました。



当初23日開催予定でしたが、天候の状況で順延となり、台風15号の動向にも気をもみながら、前日の準備も十分できず、当日早朝からの準備となりました。開始時間も心配されましたが予定通り開催でき、このようにたくさんの保護者の皆様にお越しいただくことができました。抜けるような青空のもと、3学年ともに爽やかな大会となりましたこと大変うれしく思いました。

1年生にとっては、中学校で初めての体育大会であり、短い距離ではありましたが、入場行進も練習をした成果を十分発揮し1年生らしく胸を張って取り組んでいました。「役員生徒も含めて皆きびきびとして気持ちがいいです



ね。」と来られた方からの感想をいただきました。それまでの練習（3学年が揃って行う合同体育）で、2, 3年生の姿、特に3年生の堂々とした行進に魅了された人が多く、先輩から学ぼうとする1年生集団の思いを強く感じていました。本番では、最高の行進ができたものと思います。これまで、生徒会活動や部活動において、各先輩の背中を見て学び歩んできた1年生ですが、今回初めて、学年集団として学び合う機会が持てたことは、大変意義あるものだったと感じています。

また、改めて感じたことは、行事の陰には、必ずそれを支える人たちがいるということです。アナウンスを通してスムーズな進行に努めていた放送部の皆さんや、開会前にファンファーレで皆の気持ちを高めてくれた吹奏楽部の皆さんの動きがあるからこそ成り立つのです。

午後の3年の部の最後に、学年主任の先生が、「入学後初めての体育大会ですが、最高学年としては「初めて」という言葉で甘えてもらえない大会でもあり、それを踏まえて立派に取り組んできました。だからこそ、行事のバトンが後輩にしっかり引き継がれたものと思う。」と言われたことがとても印象に残っています。3年生の大きな背中を1, 2年生が見て感じ取り、新たな伝統が継承された大会となりました。各学年ともに、今後の成長を期待いたします。

近隣地域の方々には、放送等でお騒がせしましたが、ご理解・ご支援をいただき、無事思い出に残る行事となりました。また、大会運営に携わっていただきましたPTA執行部の皆様には、大変お世話になりありがとうございました。次は、文化発表会に向けての取り組みが始まります。今後ともよろしく願いいたします。

【競技の結果】

	1学年	2学年	3学年
優勝	3組	2組	5組
準優勝	4組	1組	6組

【長縄競争結果】

	1学年	2学年	3学年
優勝	1組 (558回)	2組 (679回)	5組 (774回)
準優勝	4組 (523回)	5組 (639回)	1組 (659回)



